

藤沢市 環境基本計画

～地域から地球に広がる環境行動都市～

2022年(令和4年)3月



はじめに

～地域から地球に広がる環境行動都市～



本市は、美しい砂浜が広がる湘南海岸やみどり豊かな里山などの自然環境に恵まれ、文化・歴史が織りなす景観は、私たちの快適な生活を支えています。

本市では、1996年度（平成8年度）に制定した「藤沢市環境基本条例」に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、1998年度（平成10年度）に「藤沢市環境基本計画」を策定し、その後、社会・環境情勢の変化に伴い、見直しを行いながら、恵み豊かな自然環境と都市環境を保全するとともに、次の世代へ引き継いでいくために取組を進めてきました。

近年、侵略的外来種などによる生態系の破壊や河川から海洋へプラスチックごみが流出することによる海洋汚染、食べることができる食品が日常的に廃棄されることによる大量の食品ロスの問題などが顕在化してきています。また、地球温暖化は私たちの暮らしに深刻な影響を及ぼしつつあり、猛暑や台風の勢力拡大、集中豪雨など、異常気象に伴う被害が日本各地で頻発しているなど、社会・環境情勢は刻々と変化しています。

このような本市を取り巻く社会・環境情勢の変化に対応していくとともに、市民や事業者の皆様が環境に関する意識を踏まえ、本計画では、「生活環境」「自然環境」「資源循環」「環境教育・協働」「地球環境」の5つの環境の範囲について、それぞれ環境像を設定し、環境施策を展開してまいります。

特に気候変動対策については、環境像5「地球環境」と対応するものとして、「藤沢市地球温暖化対策実行計画」を策定しており、2050年（令和32年）における温室効果ガス排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の実現を目指すとともに、本市における気候変動の影響に対して適応策を展開してまいります。

本計画の総合環境像である「地域から地球に広がる環境行動都市」の実現には、一人ひとりが環境問題を自分の事として捉え、協働しながら取組を進めていくことが大切ですので、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

終わりに、本計画の改定にあたり、熱心なご審議をいただきました「藤沢市環境審議会」の委員の皆様をはじめ、数多くの貴重なご意見をいただきました市民や事業者の皆様が心から感謝申し上げます。

2022年（令和4年）3月

藤沢市長 

目 次

第1章 計画の概要	1
1 計画改定の背景	1
2 計画の目的	1
3 計画の範囲と位置づけ.....	2
4 計画の期間	3
5 計画の構成	3
第2章 本市の現状と課題	4
1 社会情勢の変化	4
2 環境の現状と課題.....	11
3 前計画における評価と課題.....	21
4 環境意識調査	25
第3章 計画が目指すもの	29
1 総合環境像	29
2 環境像	32
3 計画の施策体系	35
第4章 施策の展開	36
環境像1 快適な環境が将来にわたって適切に保全されるまち.....	36
環境像2 地域資源を活用し自然とふれあえるまち.....	50
環境像3 資源を持続可能な形で循環し利用していくまち.....	58
環境像4 次の世代の中心となって活躍する人が育つまち.....	64
環境像5 環境にやさしく地球環境の変化に適応したまち.....	69
第5章 計画の推進体制と進行管理	80
1 計画の推進体制	80
2 計画の進行管理	82
資料編	83

文章中などにおいて*が付く用語は、資料編の用語集に解説を掲載しています。